

平成 29 年度第 2 回藤沢市図書館協議会 会議録

日 時 2017 年（平成 29 年）11 月 21 日（火）午後 3 時から 5 時 35 分まで

場 所 総合市民図書館 2 階 第 1 会議室

出席者 委員側 6 名

委員長 大村 勝敏

委 員 長谷川 豊祐，於保 ミチ子，石川 美保子，石塚 光里，
川田 進

図書館側 12 名

総合市民図書館 館長 高橋 眞智子

専任主幹 饗庭 寛子

主幹補佐 岡田 茂雄

専任主幹補佐 瀬戸 あかね

専任主幹補佐 田嶋 有紀子

上級主査（再） 渡貫 三吉

上級主査 吉澤 宏直

任期付任用職員 栗山 優里

南市民図書館 主幹 渋谷 宇一郎

NPO 法人市民の図書館・ふじさわ

事務局長 河村 融

辻堂市民図書館 責任者 京田 陽子

湘南大庭市民図書館 責任者 長坂 伸子

1. 開会

2. 議題

- (1) 9 月議会について
- (2) 平成 28 年度図書館統計（概要）について
- (3) 平成 28 年度 NPO 法人市民の図書館・ふじさわ事業報告について
- (4) 7 月から 10 月までの事業について
- (5) 平成 29 年度藤沢市図書館利用者アンケート中間報告について
- (6) 平成 29 年度雑誌スポンサーの状況について
- (7) その他

委員長

それでは、平成 29 年度第 2 回藤沢市図書館協議会を開催いたします。
まず始めに本日の会議の成立について、事務局から報告をお願いいたします。

事務局

事務局から会議成立のご報告をさせていただきます。
本会議の成立につきましては、「藤沢市図書館に関する規則」第 20 条第 2 項に「委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない」と規定されております。

本日の欠席者は事前に連絡を受けております神戸委員のみで、出席者は6人となっておりますので、本会議が成立していることを、ご報告させていただきます。

また、本日の会議は公開としており、傍聴者は5名を予定しておりますが、現時点ではおりません。

事務局からの報告は以上です。

委員長

ありがとうございます。それでは、議題にそって進めてまいります。

議題（1）9月議会について、事務局から説明をお願いします。

事務局

9/1（金）から10/6（金）までの間、開催されました9月議会について、ご報告させていただきます。

なお、内容につきましては、概要とさせていただきます。

①全国的に登録者数や貸出件数等が減少傾向だと伺っている。その原因についてどう考えているのか。また藤沢市はどうか。

→インターネット等の普及により、簡単に情報が手に入りやすくなったことが減少傾向の一因だと考えている。藤沢市においても同様に減少傾向であるが、人口一人あたりの年間貸出件数は全国平均5件に対し藤沢市は9件、来館者数は4館合計で一日平均1,000人以上となっていることを踏まえると、多くの方々に利用していただいている。

②南市民図書館が開館から半世紀以上経っている。図書館の施設整備について考えを伺いたい。

→開館から総合市民図書館が30年・南市民図書館が54年経っている。この間施設や設備の老朽化が進んでいる。辻堂市民図書館・湘南大庭図書館を含め、利用者の安全・安心と快適な利用環境を確保するため、計画的な改修工事や修繕を行っている。特に南図書館については、階段や段差等が多く、バリアフリーに対応できていないことから藤沢市公共施設再整備プランの中で検討している。

③障がいのある人など多様な利用者に対応するサービスについてどう取り組んでいるのか。

→総合市民図書館には、点字図書館が併設されており、ボランティアとともに視覚に障がいのある方へのサービスを行っている。そのほか、図書資料の宅配サービスや、手話によるおはなし会の開催など様々なサービスを提供している。今後も様々な利用者に対する理解を深め、資料や情報を提供できるよう努めていく。

④インターネットなどICT化が進む社会状況の中、未来の図書館・100年後も続く図書館に向けて、今後の取り組み等について伺いたい。

→図書館に求められる様々なサービスの提供のあり方について多方面から研究し、全ての利用者を使いやすい図書館となるよう検討するとともに、インターネットなど様々な媒体を活用し、図書館の魅力の発信

に積極的に取り組んでいく。また、今後利用者満足度を一層向上させ、本を介した地域の「知」の情報拠点となるよう取り組んでいく。

⑤図書館では、LLブックを何冊所蔵しているのか。また、積極的に収集する必要があると考えるが、市の見解を伺いたい。

→4図書館で合計7タイトル13冊所蔵している。LLブックは様々な利用者の読書への要求に応じていくためにも、必要であると考えている。今後、機会を捉えて収集に努めていく。

⑥社会貢献に対し図書館が持つ「チカラ」について、どのように考えているのか。また現状の評価と今後の方向性についても伺いたい。

→図書館は様々な知識や情報など「知」の宝庫であり、その提供により、人の成長及び文化的な潤いのある生活が送れるように支援する「チカラ」を持っていると考えている。

藤沢市には4図書館・11市民図書室があり、市全域に豊富な蔵書を活用し、身近な地域の課題解決に役立っていただくなど充実した図書館サービスを提供している。その結果、利用者アンケートでも高い評価を得ている。今後は、近年のICT化に伴う社会状況の変化や多様化するニーズに応えるためにも利便性の向上を図り、身近な課題解決に資する機関として全ての人のための、そして一人ひとりを大事にする図書館をめざしていく。

⑦ブックスタート事業の目的について、伺いたい。

→子どもと保護者が本とともに楽しいひとときを過ごし、本と親しむきっかけとしていただくことを目的としている。

⑧住民の学びに応えるためにも資料購入費の拡充が必要と考えている。資料購入費の拡充について、市の認識を伺いたい。

→図書館の資料購入は計画的に必要な資料の購入を行うとともに、市民の方からのリクエストなどにも対応がとれるように努めている。平成28年度は、平成26年度の市民からの寄付を積み立てている文化振興基金を活用し児童書を、平成29年度には一般書を中心に資料購入を行うなど図書の充実を図っている。今後も多様化する市民の要望に応えまして、様々な資料を提供していく。

⑨南図書館の建て替えについて、今後進め方や考え方を伺いたい。

→南市民図書館及び隣接する市民会館につきましては、いずれも年数の経過により老朽化が進んでおり、また公共施設のあり方としても、これから何十年か先を見据えて取り組む必要があると考えている。再整備に当たっては、多くの方々から幅広く意見等を集め、検討していく。報告としては以上です。

委員長

事務局からの説明が終わりました。皆さんからご意見・ご質問等はございますか。

委員長
事務局

議会でも質問があったLLブックについて、詳しく説明してください。

LLブックは、「やさしく読める本」という意味で、スウェーデン語の頭文字をとっています。知的障がい・学習障がい等により、文字を読む力がない方でも気軽に読めるような工夫がなされているものです。このような本を取り扱っている出版社も年々増えてきています。

===図書館に配架されているLLブックを見てもらう===

委員長

それでは、議題（2）平成28年度図書館統計（概要）について、事務局から説明をお願いします。

事務局

お手元の資料をご覧ください。基本的には昨年度の実績を取りまとめたものになります。

最初の部分は、前回の藤沢市図書館協議会でもご説明させていただきました図書館の運営方針・目標・歴史（あゆみ）を掲載しています。

そして、そのあとには蔵書数・登録者数・貸出者数・貸出件数等々の統計、図書館施設の概要・点字図書館について記載をしています。

また、より質の高い図書館サービスを提供できるよう4図書館において、様々な研修を行いました。

（詳細は会議資料に基づき説明）

説明としては以上です。

委員長

研修に図書館の歴史を取り入れるなんて、なかなか他の図書館では聞きません。今まで培ってきたものを次に引き継ぐという気持ちだと思います。とても素晴らしいことです。

===休憩===

委員長

それでは、再開いたします。議題（3）平成28年度NPO法人市民の図書館・ふじさわ事業報告について、事務局から説明をお願いします。

事務局

議題（3）につきましては、辻堂市民図書館及び湘南大庭図書館の業務運営を委託しておりますNPO法人市民の図書館・ふじさわの河村事務局長からご説明をさせていただきます。

事務局

お手元の資料をご覧ください。

藤沢市が定めた図書館の運営方針に則り、NPO法人市民の図書館・ふじさわの方で平成28年度事業計画書を作成し、この事業計画書に基づき、事業運営等を行っています。

事業総括といたしましては、職員全員がグループに分かれて参加して

いるチーム活動において、資料展示や館内サイン等の改善を図り、図書館サービスの幅の拡大と質の向上を図るなど大きな成果をあげることができました。

また、研修総括については、辻堂市民図書館・湘南大庭市民図書館それぞれで図書館運営に必要な研修を数回にわたり行いました。

(詳細は会議資料に基づき説明)

説明としては、以上です。

委員長 事務局からの説明が終わりました。皆さんからご意見・ご質問等はございますか。

委員 異年齢交流チームが行っている「辻堂寄席」とは、どのような事業なのでしょう。

事務局 市役所を退職された方などを中心にご協力をいただき、寄席を行っており、大変好評な事業の1つです。また、受付周辺に落語に関連する本を配架し、その場で貸出等も行っています。

委員長 (NPO職員の)退職の状況は、どうなっていますか。

事務局 定年退職者(65歳)と私事都合による退職者をあわせ、年2~3名の職員が退職しています。

委員長 私の知る限りではありますが、NPO法人市民の図書館・ふじさわによる図書館運営は、業務に対する意識が高いこともあり非常に優れていると思います。

それでは、続きまして議題(4)7月から10月までの事業について、事務局から説明をお願いします。

事務局 総合市民図書館の事業報告については、田嶋専任主幹補佐
点字図書館の事業報告については、瀬戸専任主幹補佐
南市民図書館の事業報告については、渋谷主幹
辻堂市民図書館の事業報告については、京田責任者
湘南大庭市民図書館の事業報告については、長坂責任者
各館から資料に基づき説明。

委員長 ご意見・ご質問等は最後一括して伺いますので、次の議題に移ります。
それでは、続きまして議題(5)平成29年度藤沢市図書館利用者アンケート中間報告について、事務局からお願いします。

事務局 利用者アンケートにつきましては、前回の藤沢市図書館協議会でご指摘をいただきました箇所を修正したうえで、8/29（火）から9/9（土）までの約2週間、4市民図書館で実施いたしました。

4市民図書館で2,800枚配付し、2,134枚回収、回収率76.2%となっています。集計及び分析はこれからですが、一部をご報告すると自由記載欄で「いつも図書館が綺麗で毎回気持ちよく利用させていただいています」「職員の対応が丁寧で親切で助かります」等の感想のほか、「おすすめ絵本のリストを作成して欲しい」「人気のある新刊本の蔵書数を増やして欲しい」等のご意見やご要望がございました。

現在、集計・分析を行っていますので、次回の藤沢市図書館協議会で委員の皆様アンケート結果の概要をお伝えしてまいりたいと考えております。

委員長 それでは、続いて議題（6）平成29年度雑誌スポンサーの状況について、事務局からお願いします。

事務局 雑誌スポンサー制度とは企業・団体等が、図書館が所蔵する雑誌の購入代金を負担していただき、本市図書館の財源を確保するとともに、購入した雑誌に企業・団体等の広告を表示することにより、企業・団体等の宣伝だけではなく、イメージアップにもつなげるための制度で、平成27年4月から開始した事業です。

今年度につきましては新規・継続を含め36社に対し雑誌スポンサーになっていただけるようお願いしたところ、20社から雑誌スポンサーの申し込みがありました。いずれも前年度からの継続です。

今後も広報やホームページのほか、機会あるごとに雑誌スポンサー制度について引き続き周知を図り、スポンサーの継続・拡大に努めてまいりたいと考えております。

委員長 それでは、続いて議題（7）その他について、事務局からお願いします。

事務局 図書館事業である「ブックスタート」と「点字図書館」が藤沢市広報番組カラフルフジサワにおいて取り上げられました。すでに放送は終了していますが、藤沢市の公式ホームページ上で視聴することができますので、ご覧ください。また、「手で触れて見る彫刻展」と「かこさとしさんの作品展」がNHKのニュースで取り上げられました。こちらも藤沢市広報番組と同様に、すでに放送は終了していますが、NHKのホームページでご覧になることができます。

委員長 ありがとうございました。それでは最後に皆さんの方から一言ずつお願いいたします。

委員 障がい者に関する法律に興味がありまして、健常者のみならず障がい者も参加できるよう配慮していると感じました。また、点字図書館が行う事業も参加者が多いと思いました。

委員 今年の図書館まつりを見させていただきました。大勢の方がいて、非常に賑わっていました。また、並行して貸出等の業務（通常開館）も行っている姿を見ると、これこそが地域に根ざした図書館だと感じました。

利用者数等が減少傾向であると先ほど説明を受けましたが、利用者数や貸出件数等の統計的な実績値が全てではなく、地域に愛され、必要とされることが一番肝心だと思います。そういったPRを根強く続けてください。

委員 図書館の会議室の利用状況はどうなっていますか。

事務局 平成28年度の実績で、例えば総合館がホール・第1会議室・第2会議室・第3会議室の合計で628件・9,624人が利用しています。ある程度は利用していただいていると思っています。

委員 図書館利用者が減少している原因は、人口減によるものですか、または大和に新しい図書館ができたからですか。

事務局 藤沢市の人口については減少傾向ではなく増加傾向なので、利用者が減少していることとは関係がありません。利用者数については、全国的に減少傾向にあり、主たる原因としてインターネット等の普及が考えられます。

委員 大学図書館と公共図書館の異業種交流が少ない。互いの良いところを吸収できれば。

この間、東北の図書館を視察してきました。藤沢市と同様にスポンサー制度があり、建物内のホールにスポンサーになった企業のパンフレット等を置いてあり、やり方がうまいと感じました。藤沢市も継続してスポンサー制度を行うのであれば、東北の図書館のような手法を検討した方が良いと思います。

事務局 検討させていただきます。

委員長 最後に全体を通して、皆さんからご意見等はございますか。
以上をもちまして。平成29年度第2回藤沢市図書館協議会を終了させていただきます。長時間にわたり、ありがとうございました。

以上